

# 北海道浮魚ニュース

平成 22(2010)年度 9 号

2010 年 7 月 22 日

北海道立総合研究機構水産研究本部  
中央水産試験場

ホームページ : [http://www.fishexp.hro.or.jp/ukiuo/uki\\_index.htm](http://www.fishexp.hro.or.jp/ukiuo/uki_index.htm)

## ◎日本海スルメイカ長期漁況予報発表される。

今年の日本海スルメイカ長期漁況予報が発表されましたので、北海道に関連する海域の予報文および参考となる図をお知らせします。

なお、この予報は日本海区水産研究所を中心にして日本海側道府県水試が共同で行った日本海スルメイカ漁場一斉調査の結果に基づいています。詳細な予報文は下記のホームページに掲載されます。

※水産庁 URL : <http://www.jfa.maff.go.jp/j/press/index.html>

平成 22 年度 日本海スルメイカ長期漁況予報

対象期間 : 平成 22 年 8 月～12 月

対象海域 : 日本海

対象魚群 : 主に秋季発生系群、  
後半は冬季発生系群も含む

### 1. 道北・道央海域 (小型いか釣り)

- (1) 来遊量 : 昨年および近年平均を下回る。
- (2) 漁期・漁場 : 概ね対象期間を通じて形成。
- (3) 魚体の大きさ : 近年平均並み。

### 2. 道南・津軽海域 (小型いか釣り)

- (1) 来遊量 : 昨年並みで近年平均を下回る。  
ただし、11 月は昨年を下回る。
- (2) 漁期・漁場 : 11 月に活発な漁場形成はない。
- (3) 魚体の大きさ : 近年平均並み。

近年平均 : 最近 5 年間 (2005～2009 年) の平均を示す。

日本海スルメイカ漁場一斉調査の結果、道南海域では CPUE (釣機 1 台 1 時間あたりの個体数) が昨年より高い調査点が見られましたが (図 1)、それ以外の海域では昨年並みまたは下回る分布密度でした。

漁期後半についてはまだ、来遊状況や来遊量の変動可能性があります。

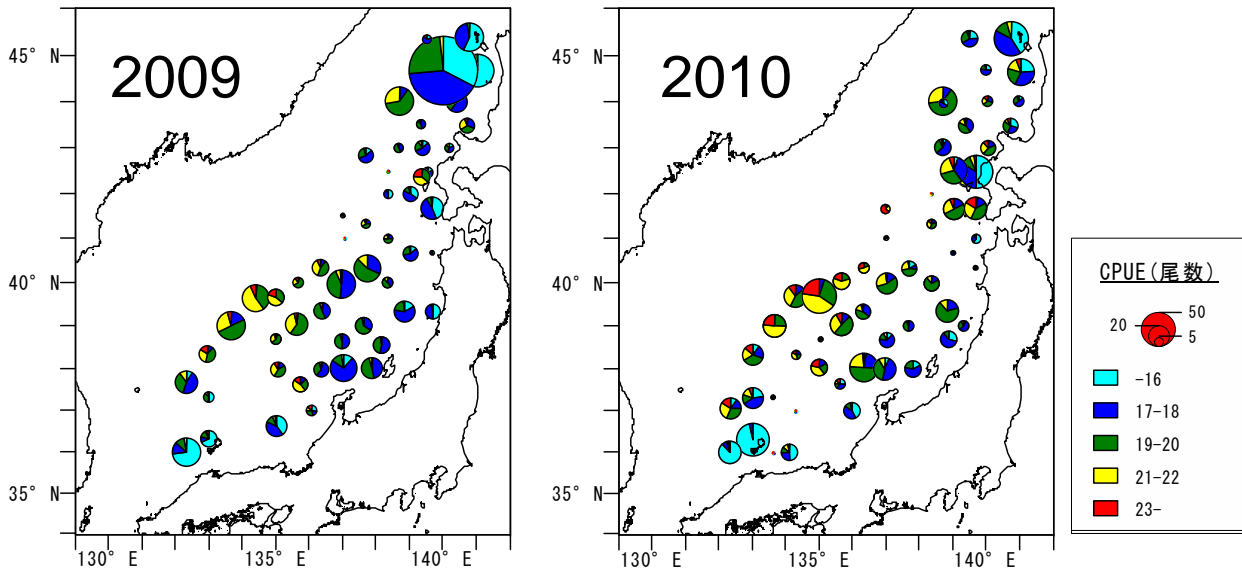


図1 日本海におけるスルメイカの分布状況（6月下旬～7月上旬）  
 ○の面積は各調査点の分布密度の指標となるCPUE（釣機1台1時間あたりの採集  
 個体数）を示し、○中の配色は各外套背長範囲の比率を示す。

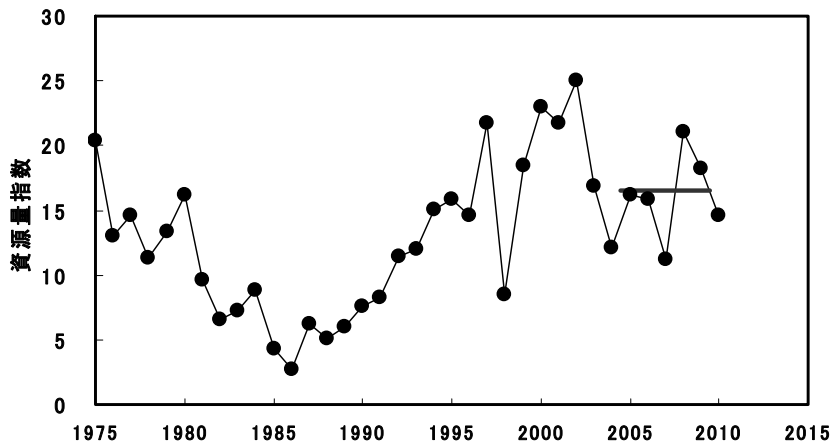


図2 スルメイカの資源量指数の変化（6月下旬～7月上旬）  
 全調査点の平均CPUEを資源量指数としている（2010年は14.59個体）。

太線は近年（2005～2009年）の平均（16.50個体）

注) 図の元データは平成22年度第2回日本海スルメイカ長期漁況予報会議資料  
 （独立行政法人水産総合研究センター日本海区水産研究所取りまとめ）より

（文責：中央水産試験場資源管理部、TEL:0135-23-8707、FAX:0135-23-8709）